
ムジークフェストなら 2022年度第2回実行委員会 議事録（要旨）

- 1 日 時 : 令和4年10月7日(金) 14時00分～15時15分
- 2 場 所 : 奈良県文化会館 2階 集会室A・B
- 3 出席者 : 荒井会長以下 実行委員会委員15名
- 4 議 事 :
 - ・ 事務局より出席委員を紹介。実行委員会会則に基づき、代理出席も含めた出席委員数が、委員の現在の数の過半数であることから、本日の実行委員会は、議事の審議に必要な定足数を満たしており、有効に成立していることを報告。
 - ・ 配付資料の確認後、荒井会長を議長に選出。
 - ・ 議長の司会進行に基づき、事務局から
 - 【報告】ムジークフェストなら2022開催報告
 - 【議題】議案①ムジークフェストなら2023事業計画 について説明。
 - ・ 委員による意見交換・質疑応答後、議案①について原案どおり採決し、11回目を迎える来年度は、風物詩となっているG.W.明けの開催はそのままに、年間を通じて音楽が楽しめる音楽祭へと展開できるよう、年中開催とするなどの事業計画について承認を得た。

なお、実施方針について各委員から以下のとおり意見があった。

▼企画・運営について

- ・ 民間主催の音楽イベントと連携して「ムジークフェストなら」を実施することは素晴らしい。一方、連携することでメリットが生まれることを明確に打ち出す必要がある。
- ・ 開催期間が拡大することで、民間の音楽団体が活躍する機会が増えるのではと思う。
- ・ 「プロースト！ムジーク」は外に音楽が漏れることで、「何か楽しいことをやっている」ことが伝わってよかった。室内にこもるのではなく、会場外にも音楽が聞こえてくることが「音楽があふれるまち」として印象に残るし、県民や観光客への認知に繋がる。
- ・ ボランティアを年間登録にしてはどうか。ボランティアにやりがいを持つ方への活躍の舞台として力を発揮してもらうことも大切。

▼広報について

- ・ 年間開催となることで、「ムジークフェストなら」がいつ開催しているのかがぼやけてしまう心配がある。メリハリをつけた広報が必要。
- ・ 音楽との関わりが深いものであれば、伝統芸能についても広報協力を行ってよいのではないか。海外から来る方への発信にもなる。

以上